

事務事業名	防衛施設関連道路整備事業（9条）	整理番号	33105-030
所管	土木課 企画調査・登記スタッフ		

事務事業の位置付け

期間	昭和57年度～	年度	根拠法令・要綱等	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律
基本計画における位置付け	基本政策	3-3	歩行者と環境に配慮した交通体系の整備	関連
	政策	3-3-1	道路網の整備	政策

事務事業の内容

目的 (何のために)	演習場周辺の市道について改良・舗装を行い、生活環境の向上を図る。
対象 (誰・何を)	防衛施設の設置又は運用によって障害を生じる住民
手段 (どのようなやり方で)	道路改良、舗装補修
成果 (どのような状態にしたいか)	住環境の改善及び向上
事務事業の背景・住民の意向	演習場使用に伴い障害を受ける地域住民は、生活環境の改善を国に強く要望している。
見直し改善の経過	

事務事業の実績・投入コスト

年度	事務事業実績	投入コスト(千円)
平成18年度	改良4路線 改良舗装4路線 舗装4路線 舗装補修2路線 L=2,769.5m	<p>投入コスト(千円)</p> <p>■直接経費(上段) ■人件費(下段)</p>
平成19年度	改良1路線 改良舗装5路線 舗装4路線 舗装補修2路線 L=2,120.4m	
平成20年度	改良舗装4路線 舗装1路線 舗装補修1路線 L=1,444.2m	

評価指標

<p>交付金充当率(%)</p>	<p>施工1m当たりコスト(円)</p>	
H18 H19 H20 H25目標	H18 H19 H20 H0目標	H18 H19 H20 H0目標

事務事業の評価

担当部署の評価		コメント
観点別評価	必要性	演習場の立地により影響を受けている市民の、生活環境を改善することが出来る。
	有効性	
	効率性	
総合評価	B	今後の方向性 継続

改革プラン

平成21年度からの対応	引き続き、演習場周辺の市道について改良・舗装を行う。
平成22年度以降の対応	引き続き、演習場周辺の市道について改良・舗装を行う。
改革により予想される成果	演習場周辺の住居環境の改善が進む。

事務仕分けの結果

仕分け区分	今後の方向性・具体的な対応
市の実施(改善)	<ul style="list-style-type: none"> 防衛9条による道路整備事業については、4億円を超える交付金の配分が見込まれることから、対象事業を幅広く模索し、できる限り効率的な事業実施を図る。 市単独道路整備事業や防衛8条事業については、当事業での実施を図る。
仕分け理由	
多額の交付金の配分が見込まれる防衛9条による道路整備について、効率的な事業実施を図る。	